

岩野田・まち協だより

事務局/岐阜市栗野 岩野田公民館内 TEL058-237-2619 岩野田まちづくり協議会

大切な命を守るために『コロナに負けない防災 ～過去の災害に学び、備えよう！～』

11月1日(日)・3日(祝) “岩野田防災展”

岩野田まちづくり協議会では、下記日程で三密を避け、コロナに負けない“岩野田防災展”を開催いたします。つきましては、防災展の趣旨や内容等にご理解をいただき、ご参加いただきますようお願いいたします。

防災展を開催するにあたり、皆様の健康チェックやマスクの着用、消毒等にご協力をいただき、安心・安全で有意義な防災展に努めたいと思います。ご家族やお友だちとお出かけいただきますようお願いいたします。

日時:令和2年11月1日(日)10時～16時・3日(祝)10時～13時

会場:岩野田小学校体育館(駐車場は、南運動場、JAぎふ岩野田支店)

趣旨:全国各地で大規模な自然災害が頻発している昨今、岩野田で暮らす私たちも“大切な命を守るために”、過去の災害に学び、備えることにより防災意識を高め、自助・共助の大切さを学ぶ。

内容:1. 過去の災害パネルから学び備えよう!

「昭和51年9.12豪雨災害と岩野田の災害」、
「濃尾地震」、「三田洞断層」等のパネル展示

※9.12豪雨時の、岩野田の浸水状況写真の提供、
自宅等の浸水深をお知らせください。

2. 模擬避難所の開設(健康チェック後体育館内に入り、間仕切りテントで避難生活、他)

3. 楽しく学ぶ『防災クイズ』に挑戦(防災パネルを見て解答、正解者には景品があります)

4. まちづくり協議会や各種団体の紹介(パネル展示)

5. その他(体験型の出し物、他)

※ 新型コロナウイルスの感染が拡大した場合、防災展を中止することがあります。



岩崎の浸水(犬飼氏) 末洞川の決壊(岐阜県災害写真)



柴橋岐阜市長との懇和会

7月28日の10時30分から11時30分までの1時間、岐阜市長柴橋正直氏との懇話会が開催されました。参加者は、市職員等7名、岩野田からは服部連合会会長はじめ自治会連合会役員、まちづくり協議会役員・委員11名が参加しました。

懇話会の概要を報告します。

【市長卓話】○コロナ社会を生き抜く新たなライフスタイルの実践をオール岐阜で取り組みましょう。市は全力で対策と支援をいたします。○教育に力を入れます。(いじめ対策、タブレット1人1台、エアコン整備、老朽化した学校施設の整備等)○岩野田地区に“岩野田担当職員”を置く。○他

【意見交換】○岩野田の100年先を見据えた夢あるまちづくりについて ○コミバスの運行やまちづくり協議会の設立に関するお礼と現状等 ○自治会加入率低下に対する対策等 ○高齢化に伴う福祉、空家、安全対策等 ○災害に強い、安全・安心な地域づくりについて ○岐阜薬科大学の跡地利用について、市営住宅や公共施設等の老朽化対策について ○他



『岩野田の危険箇所・不備な所の洗い出し』

安全・安心部会会長 江川 利法

安全・安心部会は、岩野田校区の危険な場所等の調査を12月末日途に実施します。その後、自治連合会や小学校PTA、関係団体と連携し、市へ改善のお願いをしたいと思います。

地域の皆さん、岩野田の危険な場所、改善してほしい事等がありましたらご連絡ください。

今はコロナ禍で自粛生活が続いていますが、新生活様式を踏まえた子どもからお年寄りまで楽しめるイベントや祭り、防災訓練等を実施し、地域の絆を深め、安全で安心して暮らせる岩野田を目指したいと思います。皆さんのご協力とご支援よろしく申し上げます。

「通学路安全対策プログラム」が実施されました

安全・安心部会副部会長(岩野田小学校PTA会長) 堤 寛

岐阜市内の小学校に通う子どもたちの安心安全を守るため、岐阜市には『通学路安全推進会議』と呼ばれる組織があります。これは、国土交通省、教育委員会、警察、岐阜市の担当部署の職員の皆様によって構成されています。

岐阜市内にある全ての小学校を3つのグループに分け、3年に一度、該当グループの小学校の通学路に対して、要望を聞き取り、現地の視察や調査を行っていただきます。

調査の結果、対策が必要だと判断された箇所には、行政より、適切な安全対策が進められていきます。この一連の流れを『通学路安全対策プログラム』といいます。

今年度、岩野田小学校がプログラム実施の対象校となっており、通学路の危険箇所について、いくつかの要望を提出させていただきました。

例年は、岩野田小学校 PTA と学校職員の皆様と要望書の作成を行ってききましたが、今年度からは、「まちづくり協議会」の皆様にご協力いただき、岩野田校区全体の危険箇所について情報を集めていただきました。

その結果、今まで気付くことのできなかった危険箇所について、多くの情報が短時間で寄せられ、対策を検討することができました。具体的には、通学路へのガードパイプの設置や、横断歩道の塗装修繕、また不審者対策として、三田洞歩道橋の目隠し板を通学児童の背丈より低い物にリニューアルしていただきたいとの要望をまとめました。

嬉しいことに、通学路の幾つかの交差点に対し、ガードパイプの新設工事を、年内にも着手していただけるとのご報告をいただいております。

今年度、「まちづくり協議会」の取り組みを通じ、子どもたちが地域の方々には守られ、共に育ててくださっていることを改めて感じることができました。ありがとうございました。

また、今年度の『通学路安全対策プログラム』の実施に際し、保護者の声に耳を傾け、提出資料を作成し、現地調査にまでご尽力いただきました岩野田小学校の先生方には、保護者を代表し、心よりお礼申し上げます。ありがとうございました。



三田洞の歩道橋

末洞川におけるホタルの生態系について



環境・自然部会会長 北村 利巳

近年、末洞川や鳥羽川にホタルが戻ってきました。しかし、数的にはまだまだわずかとしかいえないのが現状です。環境・自然部会としても魅力ある地域にするためにもホタルが増えていくように活動していこうと考えています。

そのために、ホタルのエサであるカワニナやホタルの育成について勉強会もおこないました。

今後は小学校とも連携をとりながらホタルの育成ができないか取り組んでいきます。



6月にはホタルが舞う末洞川

庭先で蛍舞う

環境・自然部会副部会長 林 久子

今年は、自宅前の水路で数匹の蛍を見ることが出来ました。

カワニナも生息しており来年が楽しみです。

いつか沢山の蛍が舞う光景を夢みつつ、皆さんと一緒に勉強していきたいと思ひます。



自宅前の水路とカワニナの生息？



『子供見守り隊員の新たなボランティア募集と充実について』

副会長(福祉・健康部会) 田中 信夫

まず現在ある上岩崎・山手自治会防犯パトロール隊(通称子供見守り隊)の紹介をしたいと思います。平成17年4月に山手の神谷恒夫さんが発起人となり『子供は地域の宝』との主旨のもとこの見守り隊が発足いたしました。現在では上野美和(敬称略)隊長はじめ高橋英夫、土川倅司、上野勝子、武永香代子、渡辺照子、田中信夫、千秋勇眞、神谷善右エ門、今瀬絹子、今年新たに神谷富雄が新規加入して現在のところ11名で活動しております。活動内容は小学校の下校時間を中心に上岩崎地内の横断歩道や交差点で見守り活動を行っています。(黄緑色のジャンパー・ベスト着用)



岩崎山手交差点での活動

一部のメンバーは朝の登校時間に(岩崎山手、シンシア前)の交差点と(岩崎鳥羽川、アルル前)の交差点2ヶ所で見守り活動を行っています。なお私達が住んでいる上岩崎地区特にバイパスの西側は近年住宅の増加が顕著で、この岩野田地区の中で唯一子供の数が増加している地域でもあります。まだまだこの地域にはボランティア活動に参加できる方々も数多くいらっしゃると思います。現在の隊員の知り合いの方や、近所の方を勧誘していきたいと思っています。ボランティアに参加を希望される方は、上野隊長(TEL237-5338 携帯090-2572-1281)までご連絡下さい。

例年10月頃に小学校体育館で『感謝の会』が開催され、子供達1年生～6年生までの全員が書いた感謝のこもった作文をもらい、隊員全員に回覧し、感激したり、充実感も味わったりもしています。現在自治会連合会より予算を頂いておりますが、小額であり今後活動の充実を図り、予算の増額も併せて推進したいと思っています。

まちづくり協議会発足から1年

文化・教育部会会長 真鍋 征義

「まち協」(まちづくり協議会の略称)では令和2年10月26日設立総会が行われ、正式に発足しました。設立趣意書によると、「安全安心して暮らせる、明るく魅力あふれたまちを築きたい。その願いを実現する主役は、地域を愛する私たち一人ひとりに他ならない」と冒頭にうたっております。見方を変えれば、今まで行政(役所ともいえる)が負ってきた住民生活の安心、安全、防災といったものの一部を住民の力でカバーして欲しいとの行政サイドの希望だと思います。当然行政側には予算の限度というものが、すべてを賄うことは不可能で、できることは住民が負担することは必要と考えます。早い話が年に数回の堤防・公園の草刈り作業について各自自治会が実施すること。家庭ゴミの集積場所へ各自が運搬し、収集業者の負担(費用面を含めて)を減らすこと、カラス等によりゴミが散逸していれば整理整頓しておくこと、卑近な例ですが、こんなこともまちづくりの一面です。



話が細かくなりましたが、担当の「文化・教育」について少し考えてみますと、11月初旬に「防災展」の開催が予定されています。従来のように岩野田公民館は、新型コロナウイルスの影響で会場として使用することはできず、小学校の体育館での開催を予定しています。しかしコロナ問題で「三密」を避けるため、制約を受けることはもちろん、今後の感染状況によっては開催を見送らなければならないことも考えられます。今のところ十分「コロナ」に注意して、小規模な催しとなる見込みです。皆様には情報提供等のお願いすることになると思いますが、どうかよろしくご協力のほどを。

～大切な命を守るために～ 大規模災害から学び、備えよう!

【岐阜県の大規模災害】

9.12豪雨災害

(安八豪雨災害)
1976年(昭和51年)
9月12日

長良川堤防決壊 →
安八町の浸水状況



～大切な命を守るために～ 大規模災害から学び、備えよう!

【岐阜県の大規模災害】

濃尾大震災

(内陸直下型地震)
1891年(明治24年)
10月28日6時37分

長良川鉄橋崩落 →



9月6日(日)新型コロナウイルスの感染症対策『避難所開設訓練』

台風や集中豪雨、地震災害が心配される今日、“大切な命を守るために”避難(防災)訓練を実施するべきではありますが、新型コロナウイルス感染症拡大防止を考慮し、自主防災組織役員30名ほどで実施されました。

今年は、岐阜市防災課職員にご指導をいただき「新型コロナウイルス感染症対策 避難所開設訓練」を行いました。朝6時30分岐阜市職員の防災無線等の取り扱い訓練を行った後、避難所開設訓練に入りました。

避難所開設訓練(岩野田小学校体育館と南舎)の概要を報告します。

【避難所の準備】

○仮受付や総合受付、避難用三密を避けるためのテント、仕切り、誘導表示、トイレ等の設置、他

【避難者の受け入れ】

○仮受付で検温と健康チェック、消毒を行う。⇒総合受付へ

(仮受付で感染の疑いのある人は、人との接触を避け南舎へ誘導する。健康な人は体育館内へ)

○総合受付で「健康チェックカード」と「避難者カード」を記入し提出する。

○総合受付で入室の許可が得られた人は、指定された場所(テント)に移動する。(避難生活開始)

○状況に応じて、水や非常食等を準備します。

※感染症対策を考慮した避難所開設には、準備に多くの時間と皆さんの協力が必要となります。



仮受付前の検温



防災テントの設置



避難所トイレの設置

岩野田まち協ホームページ開設準備中！

去る8月中旬、神谷政人事務局長と一緒にホームページ作成の講習会に参加して参りました。「四十の手習い」ならぬ「六十の手習い」では講習について行くのが精一杯でしたが...

こんな状態ですが、来年初めの開設に向けて、現在はホームページの構成、中身の検討に入っています。今後作成を進めるにあたって重要となる中身、つまり岩野田の情報をいかに発信し皆が共有することができるか、という点について詰めていき、有意義なものとしていきたいと考えております。その為には皆様のご協力が必要不可欠です。ご意見等ございましたら下記まで連絡をいただくと幸いです。

なお、ホームページ作成に詳しい方、お手伝い頂ける方の連絡を併せてお待ちしております。

事務局 神谷 富雄【携帯:090-8469-8979】

事務局より

歩き始めたばかりの“岩野田まち協”、皆様からのご意見・お便りをお待ちしております。

☆昭和51年9.12豪雨、岩野田の浸水写真や浸水深等の提供をお願いします。

☆求む!“岩野田まちづくり協力者”自薦他薦問いません、事務局までご連絡ください。

☆皆さんは“岩野田”をどのように思っていますか? 誇れる岩野田、改善したい岩野田、.....

皆さんからのご意見・ご要望、ご協力等、お待ちしております。

【連絡先】お手紙等の場合:岩野田公民館の“ポスト”に投函ください。

電話の場合:090-8736-6118(事務局長神谷)にお電話ください。